

History of SEIREI

聖霊中学校・高等学校のあゆみ

- 1949年 ◆ 名古屋城に隣接する名古屋市
中区三の丸に中学校を創設
- 1952年 ◆ 高等学校を開設
- 1964年 ◆ 新校舎竣工
- 1970年 ◆ 瀬戸市の現在の場所に移転
- 1981年 ◆ 本校所在地「山口町」から「せいれい町」に町名変更
- 1982年 ◆ 『EVE, My 青春!』開始
- 1984年 ◆ オーストラリア海外研修開始
- 1985年 ◆ 学園バス運行開始
中学3年生卒業論文開始
- 1987年 ◆ オーストラリアのサンクタ・ソフィア・カレッジ校と姉妹校提携
- 1993年 ◆ 中学5クラス、高校6クラス体制が確立
- 1995年 ◆ 名古屋聖霊学園と南山学園が法人合併
- 1996年 ◆ オーストラリアのマウント・セント・ジョセフ・ガールズカレッジとの
相互交流開始
- 1997年 ◆ スクールカウンセラー（臨床心理士・公認心理師）相談開始
- 1999年 ◆ 創立50周年記念式典
- 2005年 ◆ 中学定員を一学年200名、
高校定員を一学年240名へ変更
- 2006年 ◆ オーストラリアのマウント・セント・ジョセフ・ガールズカレッジと
姉妹校提携
- 2007年 ◆ 南山学園創立75周年記念式典
記念コンサート
- 2016年 ◆ 南山学園と聖園学院が法人合併
- 2020年 ◆ 新校舎へ移転
- 2024年 ◆ 創立75周年記念行事



日本宣教に派遣された聖霊会のシスターたち
(前列中央が初代学園長Sr.ヒルデ)



1959年 初代学校長Sr.マルチンヒルデ
のドイツ語の授業風景



1970年 瀬戸市の現在の場所に移転



1983年 校舎外壁を煉瓦色に全面塗装



1995年 南山学園と法人合併



〒489-0863

愛知県瀬戸市せいれい町2番地

TEL 0561-21-3121 FAX 0561-82-2025

<https://www.seto-seirei-js.ed.jp>

SEIREI

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

共に輝いて生きる。



学校法人 南山学園
聖霊中学校・聖霊高等学校

伝統がつながり、
未来へひろがる。

光の子として 生活せよ。

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に
結ばれて、光となっています。

光の子として歩みなさい。――光から、あらゆる善意と
正義と真実とが生じるのです。

(エフェソの信徒への手紙 5章8節～9節)

名古屋の郊外、瀬戸の丘陵地に位置する聖霊
中学校・高等学校は、生徒たちの知性と感性
を豊かに育むのに適している美しい自然に囲まれ
たカトリック系ミッションスクールです。

今からおよそ470年前に、聖フランシスコ・
ザビエルが日本の人々に伝えた神の愛「ごたいせつ」
のことばこそ本校の教育精神の原点であり、
南山学園の一員として、適切な学校規模を維持
しながら、家庭的な雰囲気の中で生徒たち一人
ひとりを大切に育てています。

本校は創立当初から、生徒たちに、家庭に
あっても社会においてもまわりを照らす光であっ
てほしいという願いから、聖書のみことば「光の
子として生活せよ」を教育モットーに掲げ、いかに生きるべきかを常に考え
させながら全人教育に励んでいます。また、宗教教育・外国語教育・情操
教育を教育の三本柱として大切にし、21世紀を生きる生徒たちにグロー
カルなもの見方と、人々と共に平和に生きるための力を育んでいます。

一生のうちで最も多感で心身ともに大きく成長を遂げる時期を、本校
の豊かな環境と温かい人間関係の中で過ごすことで、一人ひとりの生
徒たちは、これからの人生を歩んでいくための確かな道しるべを見つけ
ることでしょう。



理事長
市瀬英昭



学校長
マイケル・リンストロム



GLOCAL

Global - Local

地域とつながる。世界にひろがる。

Global

キリスト教を基盤としたグローバル社会へ
と飛翔し、活躍する女性を育成します。

Local

地域文化や地域の人々とつながり、
ホスピタリティを養成します。

世界にはキリスト教信者が20億人を超えて存在しています。そのため、
グローバル社会の基盤にキリスト教的な考え方が反映されていることは
間違いありません。しかし、日本においてのその数は、総人口の1パーセント
にも満たないのです。本校の生徒たちが、身近にあるキリスト教的な
考え方を理解することは、グローバル社会を生きていく上での大切な
礎となります。

キリスト教を理解する授業や宗教色豊かな行事をととして、生徒たちは
ホスピタリティ精神を養成し、自然にボランティア活動を行うようになります。
本校では、キリスト教的な考え方によるグローバルな視座と、本校
を内包する地域社会と共に生きていこうとするローカルな視座とを併せ
もった「グローカルな視座」で、女性のライフステージを考える機会を
設けています。



宗教教育・外国語教育・情操教育を
「教育の三本柱」として大切にしています。

教育の三本柱



心の原石をみがく
宗教教育

自分を知り、他を認める。そして仲間とともに生きる。キリストの心がすべての活動の原点です。自信をもって長い人生を歩んでいくための心を育みます。

お祈り

本校での一日は「朝の祈り」で始まり「終業の祈り」で終わります。「朝の祈り」では今日一日、自分の義務をよく果たすことができるようにと、「終業の祈り」では一日を無事に終えたことを感謝し、良い明日を迎えることができるようにと祈ります。約30秒間の「静思」の時間は、自らを反省し、人を思いやる大切な時間になります。全校が静寂に包まれる中、生徒たちは自分の内面を見つめ、見えないものに思いを馳せます。



広く世界とつながる
外国語教育

国境を越えて、差別や偏見を越えて、キリストの心をもって人と人をつなげる。本校創立時より重視している外国語教育は、平和な世界を築く礎となります。

国際交流プログラム
(希望制)

オーストラリア海外研修(中3～高2)
夏休みに2006年から姉妹校提携を結んでいるマウント・セント・ジョセフ・ガールズカレッジ(MSJ校)を訪ねます。本校もMSJ校からの留学生を受け入れます。

ニュージーランド語学研修(中3～高2)
夏休みにホームステイをしながら、現地の語学学校に通います。

ニュージーランドターム留学(中3)
入試のない3学期を活用し、ホームステイや現地校への通学を約1ターム(1学期間)経験します。



知性と感性をたかめる
情操教育

あらゆる感性を研ぎ澄ませて、歌い、奏でる。表現し、鑑賞する。他者とのハーモニーを重視する情操教育によって、人間本来の美しさを引き出します。

EVE,My 青春!

毎年12月にクリスマスキャロルのコンサート『EVE, My 青春!』を開催しています。中2と高1の全員、そして聖歌隊とオーケストラ部で創り上げています。合唱や演奏だけでなく、ペンライトによる演出やオーディションによって選考された生徒による司会進行、また同じく生徒によって描かれたイラスト入りの歌詞カードもこのコンサートに彩りを添えています。40年以上の歴史をもつ名古屋の冬の風物詩として、市民のみなさんにも楽しんでいただいています。



3つのポリシー

創立以来の教育理念・目標を達成するために、本校のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、グラデュエーション・ポリシーの3つのポリシーを掲げます。



アドミッション・ポリシー (求める児童像)

教育理念・目標を実現するために、どのような児童を受け入れるかを定めた基本的な方針です。



カリキュラム・ポリシー (めざす教育実践)

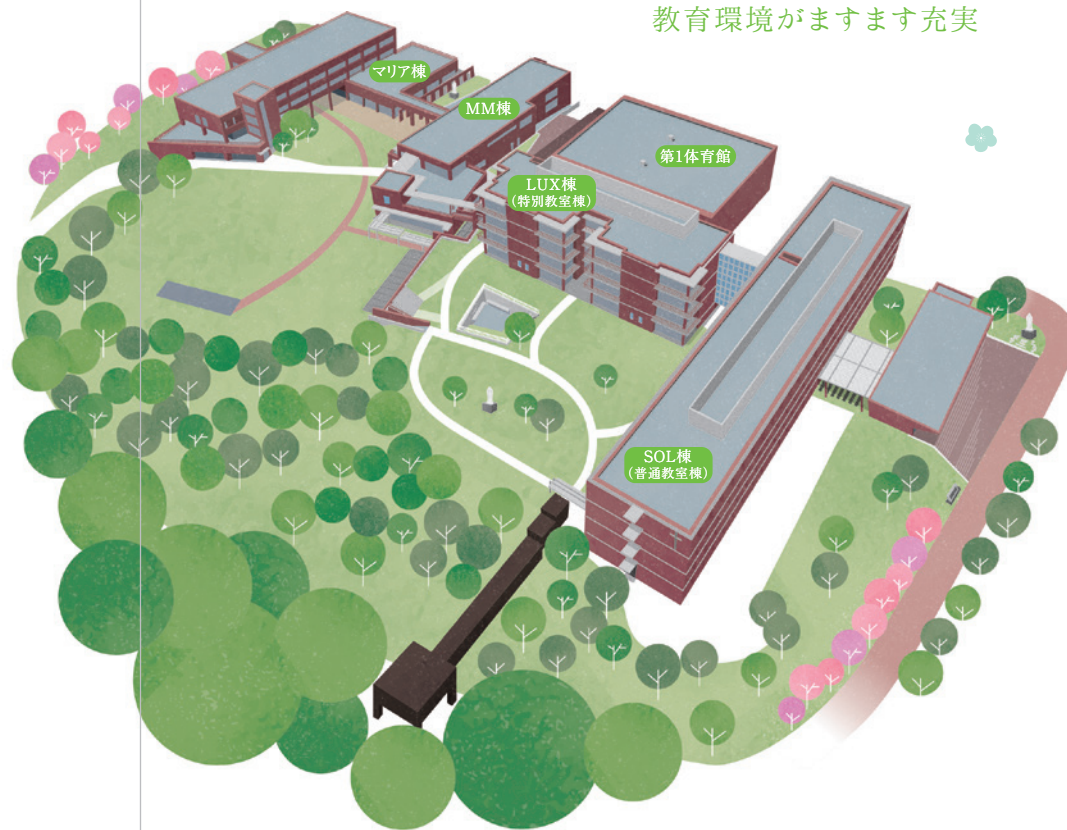
教育理念・目標やグラデュエーション・ポリシーを達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実践するかを定めた基本的な方針です。

グラデュエーション・ポリシー (めざす女性像)

教育理念・目標に基づいて、卒業時にどのような女性になってほしいかを定めた基本的な方針です。

SEIREI Campus

教育環境がますます充実



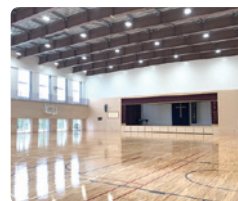
生徒玄関



普通教室



図書室



第1体育館



被服室



理科室



宗教室



礼法室

卒業生からのメッセージ



聖霊での6年間は
今の私の原点です。

名古屋大学文学部人文学科 卒業
公正取引委員会事務総局 勤務

田中 睦さん (2020年3月卒業)

聖霊を卒業して6年が経ちますが、折に触れて、聖霊で過ごした、穏やかで時に刺激的な日々が今の私の糧となっていることを感じます。

私は、6年間をとおして、リーダーや生徒会役員としてさまざまな行事の企画・運営等に携わる機会をいただきました。特に、高校1年生での『EVE, My青春!』では、一人ひとりがより主体性をもって参加できるよう、リーダーを中心にさまざまな取り組みを行いました。そうした活動の中で、クラスメイトを日々観察し、長所を見つけ、それぞれが活躍できるような場をつくることに大きなやりがいを感じました。本番では途中で雨が降り始め、最後まで歌い切ることはできませんでしたが、全員で一つの目標に向かって努力した経験は今も大切な思い出となっています。

また、大学受験の際には、努力が結果に思うようにつながらず不安を感じたり、リーダー活動との両立に悩んだりすることもありましたが、先生方はいつも温かく寄り添い、私以上に私の力を信じてくださいました。そうした先生方の支えや切磋琢磨できる友人たちの存在があったからこそ、最後まであきらめることなく、目標に向かって努力を続けることができたように感じています。

大学卒業後には、人々が活躍できる社会の基盤を支え、社会の一層の発展に貢献したいという想いから、国家公務員として公正取引委員会事務局で働くことを選びました。公務員として働く中でも、聖霊での経験を通じて培った観察力や継続力は活かされていると感じています。まだまだ勉強することの多い日々ですが、聖霊生として過ごした日々を胸に、人々を明るく照らせるよう尽力していきたいと考えています。



聖霊で育んだ「わたし」が
芽吹いたと感じています。

南山大学文学部日本文学科 卒業
公益財団法人徳川黎明会徳川美術館 勤務
学芸員

野村 弥生さん (2014年3月卒業)

「光の子として生活せよ」という言葉は、自尊心を育む力をもつ言葉ではないでしょうか。互いを「光の子」として認め合うことで、相手に一歩近づく勇気を得ることができました。今もこの言葉が、私の背中をそっと押してくれます。仲間と共に課題に向き合い、時に遠回りしながらも支え合って進んだ経験は、今の私の人間関係の基盤となっています。

小学5年生の夏、母に連れられて立ち寄った私立中学校のイベントで、当時の校長先生だった大橋嘉男神父様に出会いました。その後、オープンスクールなどで豊かな自然や穏やかな校風に触れるうちに、「聖霊に通いたい」という思いが少しずつ大きくなっていったのを覚えています。入学後は日々のお祈りや静かな自省のひととき、友人や先生方との関わりをとおして、いつの間にか「聖霊生」になっていきました。聖霊という豊かな土壌に蒔かれた「わたし」は、6年間という時間をかけて自分の芽を出す準備をしたのです。

幼いころから能楽に触れてきた私は、日本の伝統文化に広く関心をもっていました。大学では能道具の売立(競売)の研究の傍ら、学芸員の資格を取得し、大学1年生の夏に伝統文化を学ぶ学生団体を立ち上げ、日本の伝統や文化財に向き合う姿勢を身につけました。大学卒業後は一般企業に就職しましたが、お世話になった方々の導きにより、現在は学芸員の道を歩み始めています。日々の仕事には責任と緊張が伴いますが、聖霊で育まれた、焦らず、自分と他者を信じて進む姿勢が、迷ったときに立ち返る確かな拠り所となっています。これからも学び続け、能楽をはじめとする伝統文化の継承に力を尽くしていきたいと考えています。

アドミッション・ポリシー

(本校が求める児童像)



本校は、美しい自然環境に恵まれた瀬戸市の丘陵地に立地し、三位一体の神の愛である「聖霊」によって結ばれた共同体として、その名をいただいたキリスト教のミッションスクールです。創立以来、『光の子として生活しなさい』をモットーとして掲げ、「一人ひとりが神から与えられた、かけがえのない存在である」という確信のもとに、すべての人々が、神に期待される人間として、自分と人とを大切に、人々のために尽くしながら、人々と共に生きることでできる人へと成長し、社会と家庭における自己の使命と役割に目覚めるように力を尽くします。

聖霊中学校は、こうした創立以来の学校の理念、目標を実現する手段として、2016年度に、本校が求める児童像(アドミッション・ポリシー)を掲げ、小学校での充実した生活経験と本校入学後の成長の可能性をあわせもつ児童を積極的に受け入れます。



本校入学前の生活について

公立・私立小学校もしくは海外日本人学校などで義務教育の正課を修了する見込みで、仲間とともに年齢にふさわしい生活を送り、心身ともに健康であり、集団に寄与した児童。

01

在学する小学校の教育目標・校訓や所属する学級の目標を理解し、充実した学校生活を過ごすことができた児童。

02

児童会・委員会・係などの課外活動を積極的に行い、まわりの仲間や下級生との関わりのなかで、他から信頼を得ることのできた児童。

03

学校外の活動、地域の活動に継続して取り組み、その活動によって成長できた児童。

本校入学後の生活について

聖霊中学・高校での生活を具体的に思い描き、聖霊での6年間で仲間と協力しながら充実した学校生活をする意志のある児童。

02

仲間と共に学び励むことが自分を成長させることであると自覚し、学習を日々続けることのできる児童。

01

本校がカトリックの女子ミッションスクールであることを理解し、自分自身もまわりの仲間も大切な存在であることを認め、キリストの教えにもとづいて行動できる児童。

03

学習以外の諸活動においても熱心に取り組む、困難にも立ち向かいながら、充実した学校生活を送ることのできる児童。

VAP選考入試とは

本校が掲げるアドミッション・ポリシーに合致、もしくは今後、合致するであろうことが予見できる人物を対象とした入試制度です。

本校を第一志望としている人、本校に入学してぜひがんばりたいという強い意志のある人について、その適性を判断します。

Message



中学3年
鈴木 雛さん

VAP選考入試で入学しました

聖霊生としての誇りをもって生活しています。

私は友人の紹介で、小学4年生のときに初めてオープンスクールに参加しました。すれ違うたびに優しく笑顔であいさつしてくださる先輩方の姿を見て、この学校に入学したいと思いました。

入学すると、先輩方は聖霊生であることに誇りをもって生活していることに気がきました。その姿を見て、私自身も聖霊生であることを再認識し、嬉しさと共に身が引き締まるような思いがしました。今はクラスの代表であるリーダーを務めながら、温かい学年をつくれるように努力しています。これからも私らしく成長していきたいです。

カリキュラム・ポリシー
(本校がめざす教育実践)



ミッションスクールであることと
グローバル世界の構築のために

本校では、6年間の学習を通して、生徒が「意味」や「関係性」を感じ得ることを目標とします。「意味」とは、存在意義、生きている実感、自分が自分の人生の主人公という感覚、生きる喜び、人生や生活の目標、目的、夢などのことです。「関係性」とは、人と人との絆、今の自分と未来の自分のつながり、自分と社会とのつながりなどのことです。

すべての教育活動を通して生徒が「意味」や「関係性」を育むことをカリキュラムの根本として、本校のカリキュラム・ポリシーを掲げます。

- 01

知識の詰め込みではなく、生徒を導くスタイルを提示します。冷静に物事を考え、自分なりに知識を形成し、新たな知識を自らが発見していくという探究型の授業の場を設定します。
- 02

グローバルな視野に立って多様な文化を受容し、その価値観を肌で感じ受容することで、日本というローカルな視座に立ち返り、日本の文化を世界に発信していくような人材を養成します。
- 03

かつての正解主義にとどまることなく、近い将来必要となるであろう正解が一つではない問いに対して折り合いをつけていく力を、グループ学習を通じて養成します。
- 04

6年間の学びを通して、ただ自己の考えの主張にとどまることなく、自分自身の考えを導き出すプロセスを提示でき、グローバルイシュー(地球的規模での解決が必要な問題)に対して討論できる力を養成します。



● 聖霊中学校

自発的に学びたいという気持ちを喚起させるために、中学では一人ひとりに合った学習指導を重視しています。卒業生による学習支援(チューター制)もその取り組みの一つです。

また、総合的な学習の時間などでラボラトリー方式の体験学習やキャリア教育などを、南山大学人文学部心理人間学科の支援を受けながら推進しています。

3年生では約一年をかけて自分の問題意識を掘り下げる「卒業論文」に取り組み、探究型の学びを体験します。

中学校教育課程			
中学1年生		中学2年生	
国語	4	国語	4
社会	3	社会	3
数学	4	数学	4
理科	3	理科	4
英語	4	英語	5
音楽	2	音楽	1
美術	2	美術	1
保健体育	3	保健体育	3
技術家庭	2	技術家庭	2
宗教	1	宗教	1
学級活動	1	学級活動	1
総合的な学習の時間	2	総合的な学習の時間	2

◆ 高校2年生からの選択群

	高校2年生	高校3年生
選択A群 計4単位	文学国語	文学国語
	世界史探究	世界史探究
	数学B	数学C
	スポーツI	スポーツII
	音楽II	音楽III
	美術I	美術II
	時事英語	時事英語
	第2外国語I	第2外国語II
	家庭生活	家庭生活

◆ 習熟度別授業

1年 — 数学Iを3グレード
論理・表現I(英語)を2グレード

2年 — 数学IIを3グレード
英語コミュニケーションIIを3グレード

● 聖霊高等学校

高校では生徒個々の多様な能力や適性に応じた発展的な学習の段階へと進みます。特に数学や英語では1年生からグレード制を採用入れて指導します。

さらに2年生から多彩な選択科目を配置して、生徒一人ひとりの進路設計をサポートしています。文系・理数系の演習講座だけでなく、音楽・美術・家政学等の科目履修も可能です。選択科目の多くは少人数クラスとなり、大学入試対策を含めて、個別に手厚く指導しています。

中学1年生の時間割の例					
	月	火	水	木	金
1	国語	音楽	宗教	保健体育	国語
2	英語	技術家庭	数学	英語	数学
3	社会	技術家庭	英語	理科	社会
4	保健体育	理科	理科	数学	英語
5	音楽	保健体育	総合	国語	美術
6	数学	国語	HR	社会	美術

高等学校教育課程					
高校1年生		高校2年生		高校3年生	
現代の国語	2	論理国語	2	論理国語	2
言語文化	2	古典探究	2	古典探究	2
歴史総合	2	数学II 3グレード	4	倫理	2
公共	2	生物基礎	2	体育	3
数学I 3グレード	3	体育	2	英語コミュニケーションIII 3グレード (英語選択)	4
数学A	2	保健	1	論理・表現III	2
化学基礎	2	英語コミュニケーションII 3グレード (英語選択)	4	選択A2	2
体育	2	論理・表現II	2	選択B2	7
保健	1	宗教	1	選択C	2
音楽I	2	選択A1	2	選択D	2
英語コミュニケーションI	3	選択B1	7	ホームルーム	1
論理・表現I 2グレード	2			総合的な探究の時間	2
家庭基礎	2				
情報I	2				
宗教	1				
ホームルーム	1				

	高校2年生			高校3年生		
選択B群 計14単位	日本史探究(4)	英会話(1)	地理総合(2)	日本史探究(3)	文学特講(2)	物理基礎(2)
	日本史探究(4)	英会話(1)	地理総合(2)	生物(5)		物理基礎(2)
	化学(5)		物理基礎(2)	生物(5)		地理総合(2)
	化学(5)		物理基礎(2)	物理(5)		地理総合(2)
選択C群 計2単位				国語演習、基礎国語、日本史演習、化学基礎演習 ソルフェージュ・音楽、書道I、情報II		
選択D群 計2単位				政治・経済、数学I・A演習、生物基礎演習、 スポーツIII、ライティング、総合英語、保育		
選択CD群共通 計4単位				数学III、数学B・C、デッサン専科		

高校3年生の時間割の例					
	月	火	水	木	金
1	論理・表現III	古典探究	選択B2群	総合的な探究の時間	英語コミュニケーションIII
2	倫理	選択B2群	体育	総合的な探究の時間	英語コミュニケーションIII
3	選択B2群	選択C群	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	古典探究
4	論理国語	選択C群	英語コミュニケーションIII	選択B2群	選択B2群
5	選択A2群	体育	論理国語	選択D群	選択B2群
6	選択A2群	倫理	選択B2群	選択D群	HR



各教科の カリキュラム・ポリシー



国語

豊かさを追究できる人となれるよう支援します。

「読む力」・「書く力」・「発表する力」・「受け取る力」の四つの力を養成することを、国語科における学びの根本とします。

「読む力」について、説明的文章においては「論理を捉える力」を、文学的文章においては「主題へとアプローチする態度」を、それぞれ培います。「書く力」について、説明的文章においては「論理的に書く力」を、文学的文章においては「他者へと、思いを伝えようと工夫する態度」を、それぞれ培います。「発表する力」については、「自己の思いや考えを的確に相手に伝えようとする態度」を培います。「受け取る力」については、「他者の思いや考えを受け止めようとしてアプローチする態度」を培います。

各学年における言語の発達段階に留意しつつ、「意味」や「関係性」を感じて、人としての豊かさを追究できる社会人となれるよう支援し続けます。



英語

四技能を伸ばし、グローバルな視野を育成します。

英語の四技能をバランスよく伸ばし、英語で発信された情報や考えを理解する力、自分の意思を的確に伝える力を育成するとともに、言語や文化を深く理解し積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度とグローバルな視野を育成します。

ティームティーチングやネイティブスピーカーによる1クラス2分割授業を設定し、中学では、ペアやグループでの言語活動を通して主体性や協同性を育み、英語学習の素地を養成します。さらに高校では、グレード別授業や選択授業を設定して、個々の習熟度に合わせた授業を展開し、総合的な英語力を向上させます。また、中高ともに、英語検定等の資格試験に挑戦する場を設定し、それに対応する力をつける取り組みを展開します。



数学

基礎を養うと共に、数学的思考を高めます。

中学時に高校の学習内容の素地を養成すべく授業を展開し、基礎計算力を養うと共に、数学的思考を高める場を設定します。週末課題などを活用して学習習慣を確立し、自ら学習を進めるための姿勢と基礎学力を養成します。

高校時にはグレード別授業を展開し、個々の習熟度に合わせた授業を設定して、数学的論理思考を深めます。理数系大学を含む数学を必要とする上級学校において、将来活躍できる力を養成します。



社会

「知識・確信・思考力」を育成します。

「社会貢献への道を模索する女性」の育成の基礎となるべき「知識・確信・思考力」を、6年間を通して育成します。知識とは、自らを取り巻く社会に関するもの、確信とは、自らの社会参画によってより良く変容するということ、思考力とは、課題の発見と解決に向けた力です。



理科

自然科学に関する知識と科学的思考力を養います。

本校の緑豊かな環境・恵まれた立地条件を活かし、豊かな人間性と幅広い教養を醸成することをめざして、自然科学に関する広い知識と科学的思考力を養います。また、自然界の諸事象に対する疑問を大切にし、自然界のしくみ(原理)を正しく理解するための場を設定します。



音楽

本物のハーモニーを追究します。

歌うことに慣れ親しみ、本物のハーモニーを追究する場を設定します。また、日常的にチームワークの大切さ、感動する心を養成します。本校独自のカリキュラムとして「ヴァイオリン」に取り組む場を設定し、器楽合奏の楽しさを通して達成感や一体感を養成します。



美術

「意識して描く」をテーマとします。

6年間を通して、「意識して描く」をテーマとし、ある人・ある分野の感性や美しさだけに偏重することなく、表現の質的領域を深める態度を意識し、自ら探究する力を養成します。また、人間社会を形成する文化のひとつとしての役割、自然や社会事象への意識・関連性に気づけるような場を設定します。



各教科のカリキュラム・ポリシー

宗教 命の尊さを感じ、力を養成します。

キリスト教の世界観と価値観を通して、物事の背景を読み取る能力（目に見えないものを見る力）を向上させ、自分のことばで表現する力を養成します。また、宗教行事を通して、感謝の心を育成し、実践力を養います。キリスト教の知識の習得から寛容の精神、命の重さと尊さを感じ、力を養成します。



保健体育 社会的態度と集団行動の力を養成します。

合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識させ、動きの獲得や技ができる喜びなど、各領域特有の特性や魅力を深く味わうと共に、公正・協力・責任・参画などの社会的態度を育成します。集団における自己の行動や規律を厳守する意識を養成します。



技術家庭 生活をよりよくする力と態度を養成します。

技術分野においては、実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な情報や産業等についての基礎的な理解と技術を養成します。家庭分野においては、衣食住などに関する実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、将来をよりよくしようとする能力と態度を養成します。



情報 情報化社会に主体的に対応できる態度を養成します。

現在の社会生活において情報技術が果たしている役割を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる態度を育成します。実習中心の授業を通じて、基本的な情報機器の操作を身につけ、課題や目的に適した情報機器や情報ネットワークなどを活用する方法を習得します。



聖霊生の日
A day at Seirei



Message

自分を大切にできる学校です。

聖霊は温かな雰囲気に包まれています。生徒一人ひとりに寄り添ってくださる先生方と何気なく交わす会話は楽しく、生徒同士はお互いの立場を尊重し合っていて。また、球技大会や体育祭では姉妹クラスで一つのチームを築くので、学年を超えて支え合う関係が生まれます。所属している聖歌隊での経験は、コンクール本番の景色や緊張感、結果発表の瞬間まで、心に深く刻まれています。緑豊かな環境で、乙女坂に差し込む光を感じながら友達と笑い合っている時間は、私にとってまさに青春のものです。

中学3年
町田 ゆりのさん

下校バス時刻

*路線によって時刻が少し異なります。

第1便 15:55

第2便 17:00 (一部の路線は運行しません。)

第3便 18:10 (11~3月 17:35)

年間行事 School events

年間を通して、四季折々のさまざまな行事があります。仲間とつながり、助け合いながら共に壁を乗り越え、絆を深めます。



4

April

- 入学式
- 新入生歓迎会
- 避難訓練
- 修養会(中1)

5

May

- 修養会(高1)
- 球技大会(中学)
- 聖霊降臨祭

6

June

- 林間学校(中2)
- スポーツ大会(高校)
- 校外学習(中1・中3)
- 土曜セミナー
- 学習相談会(中学)

7

July

- 聖マリア・ゴレツィイ週間
- 芸術鑑賞
- 部合宿
- オーストラリア海外研修(中3～高2)
- ニュージーランド語学研修(中3～高2)

8

August

- 平和のつとめ(中学)

9

September

- 文化祭
- 弁論大会(中学)

10

October

- 体育祭(中学)
- 陸上競技会(高校)
- 土曜セミナー
- 避難訓練
- 漢字コンクール(中学)
- 学習相談会(中学)

11

November

- 創立記念日
- 修学旅行(中3 広島方面)(高2 長崎方面)
- 校外学習(中1・中2)

12

December

- クリスマス聖式
- EVE, My 青春!

1

January

- 英検校内受験
- 英単語コンクール

2

February

- 駅伝大会(中学)
- 英語暗唱大会(中学)
- ヴァイオリン発表会(中1)
- 送別会(高校)
- 土曜セミナー
- 漢字コンクール(中学)
- 静修の日(高3)

3

March

- 送別会(中学)
- 卒業式

チャレンジ精神と協調性を育む 「林間学校」(中2)

6月に長野県上高地へ出かけます。大自然の中で仲間たちとハイキングを楽しみ寝食をともにする2泊3日は、かけがえのない体験となります。また、いつもそばで支えてくれている家族への感謝の気持ちを確かめる3日間にもなります。

事前学習では上高地の自然や歴史、環境問題について学び、事後には体験をもとにして学んだことを文章等にまとめます。

社会への視野を広げ、仲間と共に創造する 「文化祭」

本校の文化祭は中高合同で開催されます。各クラスが文化祭に向けて6月から話し合いを重ね、助け合いながら制作に取り組みます。教室企画・ビッグアート・演劇・喫茶の各部門にわかれて発表しますが、採り上げるテーマは政治・経済・歴史・国際関係・環境・現代社会と多岐にわたります。文化祭での取り組みを通してクラスの絆はさらに深まります。

戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ 「修学旅行」 (中3 広島方面)(高2 長崎方面)

中3は広島方面へ、高2は長崎方面へ修学旅行に出かけます。広島では平和記念公園と資料館を訪れ、被爆体験者の方の講話を通して原爆の悲惨さ、平和の尊さを実感します。高校の修学旅行でも浦上天主堂で世界平和のための祈りを捧げます。

いずれも地域独自の文化や歴史に関する事前学習に取り組み、事後には旅行記やレポート等にまとめることで修学旅行での学びを深めます。

たすきで心がつながる 「駅伝大会」(中学)

聖霊の駅伝コースは並大抵のものではありません。苦しいけれどクラスのみんなのために頑張ろう、そんな気持ちで必死に走ります。走りきって、仲間と手をつないでゴールする瞬間は、疲れよりも感動の方が大きいことは言うまでもありません。最後に父母の会のみなさまがつくったぜんざいを食べて身体も心も温まります。



部活動・同好会 Club activities

好きなことに全力で打ち込み、仲間と苦楽を共にします。同じ部活動・同好会で助け合い、励まし合いながら過ごした友は、一生の宝物です。



Message

陸上部



高校3年
三浦 星来さん

共に走った
仲間は一生の
宝物です。

私たちは自己成長と記録の向上をめざし、大会や記録会に向けて日々仲間と高め合っています。陸上の魅力は努力の成果が数字で明確に見えることで、自己ベストが出たときの達成感は格別です。また自分との戦いでもあり、精神力や自主性が育れます。一方でリレーや駅伝では、チーム一丸となって走ります。学年を超えて仲が良く、礼儀を大切にするチームで、練習中は「ファイト」と声をかけ合っています。隣で息を切らし、共に汗を流した仲間は一生の宝物です。最高の仲間と青春を謳歌したい人、私たちと走りませんか。

Message

茶道部



高校3年
渡邊 紀子さん

静かな空間で
心を
整えています。

私たちは一期一会の心を軸にお稽古に励んでいます。日本人として在るべき姿、日本特有の伝統や文化、精神を、茶道をととして学んでいます。基礎から礼儀作法を学び、文化祭ではお茶席を設けてお客さまをもてなします。また、校外の活動にも足を運んでいます。互いの出会いに感謝し、お抹茶と四季折々の華やかなお菓子を五感で味わいます。いぐさとお抹茶の香りに包まれた非日常の空間は、至福のひとつときとなるでしょう。せわしく変化する世の中だからこそ、心を整え、私たちとおもてなしの精神をわかち合いませんか。



運動部

中学・高校

ソフトボール部

チームワークの良さが売り。高いレベルのプレーをめざします。

陸上部

中・高一一緒に自己ベストをめざしながら走っています。

ゴルフ部

中・高みんなで大会をめざし活動しています。心も身体も鍛えましょう。

バドミントン部

良き友、良き先輩、良きライバルと共に練習を重ねています。

テニス部

テニスを通じて心と技と体を鍛え、大会での活躍をめざしています。

ダンス部

振り付けから自分たちで考え、文化祭での発表を中心に活動しています。

バレーボール部

チームワークでボールをつなぐ！技術向上と礼儀を大切にします。

卓球部

初心者でも、先輩が優しく教えます。

文化部

中学・高校

オーケストラ部

私たちと一緒に音と心のハーモニーを奏でませんか？

放送部

学校行事や朗読アナウンスの大会に向けて練習しています。

聖歌隊

コンクール、慰問演奏、コンサート等、幅広い活動をしています。

軽音楽部

主にコピーバンドで、好きな曲を全力で演奏しています。

和太鼓部

中・高みんなで太鼓に向かい、和の音色を響かせています。

美術部

デッサンをしたり、文化祭で展示する作品を制作したりします。

演劇部

上位大会出場に向け、キャストと裏方で一つの舞台を創り上げます。

DAC部

ボランティアをとおして、できることから共に未来をつくりましょう。

茶道部

季節の道具や作法を学びながら、心が整うひとときを。

アニメーション部

和気あいあいとした雰囲気です。活動しています。

箏曲部

月・水・金の週3日、中・高一一緒に楽しく活動しています。

手芸部

みんなで手芸作品をつくっています。一緒に楽しみましょう。

英語スピーチ部

英語のゲームやイベントで楽しく活動しながら、英語とふれ合いましょう。

同好会

中学・高校

ラクロス同好会

かけがえのない仲間と出会い、目標に向かって挑戦しましょう。

宗教同好会

教会訪問、美化活動などとおし、奉仕の精神を磨きます。

軽音楽同好会

手芸同好会

(2026年度現在)



グラデュエーション・ポリシー

(本校がめざす女性像)



本校のグラデュエーション・ポリシーの根幹は、「社会貢献への道を模索する女性になること」です。卒業後も「光の子」として、自分と人とを大切に、人々のために尽くしながら、人々と共に生きることでできる女性になることをめざします。そのために、本校の「知・徳・体」を次のように掲げます。

聖霊における

知

知性(智慧)ある女性。

聖霊における

徳

心の指針をもって
生きることのできる女性。

聖霊における

体

身体を用いて情操を養い、
深い思考のできる女性。

進路指導の取り組み

社会の中で「自分はどう生きるのか」について考えさせるとともに、「人はどのように生きるべきか」についても考えさせながら、理想の自分を築けるように支援し続けます。

15歳のハローワーク(中3)・インターンシップ(高1・高2)

中3を対象とした「15歳のハローワーク」は、社会のさまざまな分野で活躍する卒業生から仕事に関する話を聞き、キャリアイメージを描きます。また、高1・高2の希望者が市役所、販売店、飲食店などでのインターンシップに参加します。商品開発やイベントの企画などを成功させるために、主体的に課題を解決する中で、仕事を通しての社会貢献を体験します。



卒業生による合格体験報告会

大学受験を終えたばかりの高校3年生が、高校1・2年生に向けて、大学に合格するまでの過程を報告します。学習方法や入試対策にとどまらず、時間の使い方や仲間との関わり方、気持ちのコントロールの仕方まで、リアルな体験が語られます。こうした身近な先輩のメッセージは後輩たちにとって大きな刺激と励み、進路設計の一助となります。この発表会でしばしば聞かれる「聖霊の受験は団体戦」という言葉は、本校の進路指導のあり方を象徴しています。



進学補習、小論文・面接・プレゼンテーション指導

本校生徒たちは、各々の特長にあった入試区分を利用して、国公立大学や難関私立大学をはじめとした大学に進学しています。有料の映像コンテンツを用いたWEB学習を導入し、授業後や長期休暇には進学補習を実施しています。また、多様化する入試の対策として、志望理由書・活動報告書の添削指導や小論文・面接・プレゼンテーション指導を個別に徹底して行っています。



卒業生の進路実績

過去3年間の主な合格状況(累計)

国公立大学

名古屋大学(2名)
帯広畜産大学(1名)
千葉大学(1名)
東京藝術大学(1名)
浜松医科大学(1名)
岐阜大学(3名)
愛知教育大学(3名)
名古屋工業大学(2名)
福井大学(1名)
奈良女子大学(1名)
広島大学(1名)

札幌医科大学(1名)
静岡県立大学(1名)
静岡文化芸術大学(1名)
名古屋市立大学(1名)
愛知県立大学(2名)
愛知県立芸術大学(1名)
長岡造形大学(1名)
福岡女子大学(1名)

カトリック系大学

南山大学(144名)
上智大学(42名)
聖心女子大学(5名)
白百合女子大学(2名)

主な私立大学

立教大学(3名)
青山学院大学(1名)
津田塾大学(2名)
麻布大学(1名)
北里大学(1名)
多摩美術大学(2名)
日本大学(3名)
フェリス学院大学(13名)

愛知大学(3名)
愛知医科大学(4名)
愛知淑徳大学(84名)
金城学院大学(142名)
福山女学園大学(67名)
中京大学(49名)
名古屋外国語大学(23名)
名古屋学芸大学(16名)
日本赤十字豊田看護大学(4名)
藤田医科大学(13名)
名城大学(26名)

同志社大学(17名)
立命館大学(19名)
関西大学(3名)
関西学院大学(10名)
同志社女子大学(11名)
京都産業大学(2名)
近畿大学(7名)
京都女子大学(5名)
大阪医科薬科大学(1名)
立命館アジア太平洋大学(7名)

合格者からのメッセージ

名古屋大学 文学部 入学



荒城 柚里さん
2026年3月卒業

聖霊で過ごした日々が、私を変えました。

聖霊に入学する前の私は、非常に内向的な性格であり、新しい物事に挑戦するなど、もってのほかでした。先生方はそんな私にも親身になってくださり、ニュージーランド語学研修から始まって、さまざまな活動への応募や参加を応援し、支えてくださいました。こうした日々は私の視野や選択肢を少しずつ確実に広げ、部活動や校外のプロジェクトなどに、自分から積極的に取り組むようになりました。

これらの経験は受験の際に、志望理由書の作成や面接などの場面で、私を奮い立たせる力となりました。それだけでなく、聖霊で共に過ごした友人たちは、私にとってかけがえのない存在となり、面接練習や学習において互いに高め合える関係となりました。

聖霊で得られた経験、そして「光の子」として共に歩んでいくという精神は、今後の人生においても私を何度も支え続けてくれると感じています。この思いを胸に、新しい環境でも新たなことに挑戦し、成長していきたいです。

浜松医科大学 医学部 看護学科 入学

手厚いサポートのおかげで、挑戦できました。

聖霊での学校生活をとおして、私はまわりに流されずに自分の考えをもち、目標を貫くことができるようになりました。私には生まれつきの持病があります。中学2年のときに手術を受け、入院もしました。それでも先生方の手厚いサポートのおかげで、行事やさまざまな活動にはみんなと同じように参加し、楽しみました。受験の際も、ハンデを強みとして活かすことを勧めていただきました。

仲間の大学合格の知らせを耳にして、一般選抜までがんばり続けることができるのか不安になった時期もありました。しかし、先生方が集中して勉強できる場を設けてくださり、共通テストや二次試験を受ける際のコツ、先輩方からのアドバイスを教えてくださったおかげで、最後までやり遂げることができました。

私は先生方の温かいサポートがあったからこそ、挑戦と努力ができたのだと強く感じています。今後は私が、患者さんとそのご家族の思いに寄り添える看護師に成長していきたいです。



高山 喜世さん
2026年3月卒業

上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 入学



松原 さやさん
2026年3月卒業

聖霊での学びが、将来につながりました。

聖霊での6年間は、私に多くの刺激を与えてくれました。特に、高校2年生で取り組んだ探究活動では、自分の興味や関心、さらには「自分とは何者か」を見つめ直すことができ、将来像について具体的なビジョンを見据えることができるようになりました。

パレスチナ問題をテーマに探究活動に取り組みましたが、関連書籍を読むだけでなく、日頃からニュースを確認し、問題の動向を注視するよう心がけました。自ら問いを立て、探究し、結論を出すという経験は初めてでしたが、受験での小論文や面接対策において、大きな活力となりました。

先輩方の合格体験報告会や外部の方の講演会も、目の前のことしか見えていなかった私に刺激を与えました。その後、上智大学に中東地域の研究ができる学部があることを知り、総合グローバル学部の受験を決意しました。今の私があるのは聖霊で出会った多くの人たちの支えのおかげです。聖霊での日々を糧に、これからも励んでいきます。

同志社大学 文学部 英文学科 入学

自分らしく成長することができました。

聖霊では、ありのままの自分を受け容れてくれるたくさんの人に支えられながら、大きく成長することができました。6年間所属したオーケストラ部では、仲間と共に一つの音楽を創りあげる素晴らしさを実感しました。また、同時に自分の決めた目標に向かって努力し続ける力を身につけました。この力は自分の強みとなり、大学受験の際に活かされました。

自分の目標とする進路を実現する際、部活動と勉学の両立は容易ではありませんでした。しかし、最後まであきらめずにやり遂げることができたのは、私の悩みを自分のことのように考え、励まし続けてくださった先生方と、何事にも全力でがんばる仲間の存在があったからだと思います。

聖霊は、誰もが自分らしく輝ける場所です。学校生活をとおして得たかけがえのない経験を糧とし、宝物のような思い出を胸に抱いて、支えてくれた先生方や友人にいつか恩返しができるよう、これからも私らしく努力を続けていきたいです。



清水 彩希さん
2026年3月卒業

交通アクセスのご案内 Access



27台のスクールバスで 11系統 120箇所のバス停 とキャンパスが直結！

本校へは公共交通機関の他、
11系統のスクールバスを利用して通学することができます。

スクールバス路線名

- 上社線
- 藤が丘線
- 植田線(梅森石神経由・赤池経由)
- 守山瀬戸線
- 竹越線
- みどり線
- 日進線
- 豊田線(四郷経由・三好丘経由)
- 藤岡線
- 多治見線
- 山口線

スクールバスの
路線図と会費・時刻表は
こちらから
ご確認ください



アクセス方法

名鉄瀬戸線をご利用の場合

「新瀬戸駅」「尾張瀬戸駅」よりスクールバス

愛知環状鉄道をご利用の場合

「山口駅」より徒歩約15分(スクールバスも利用できます。)

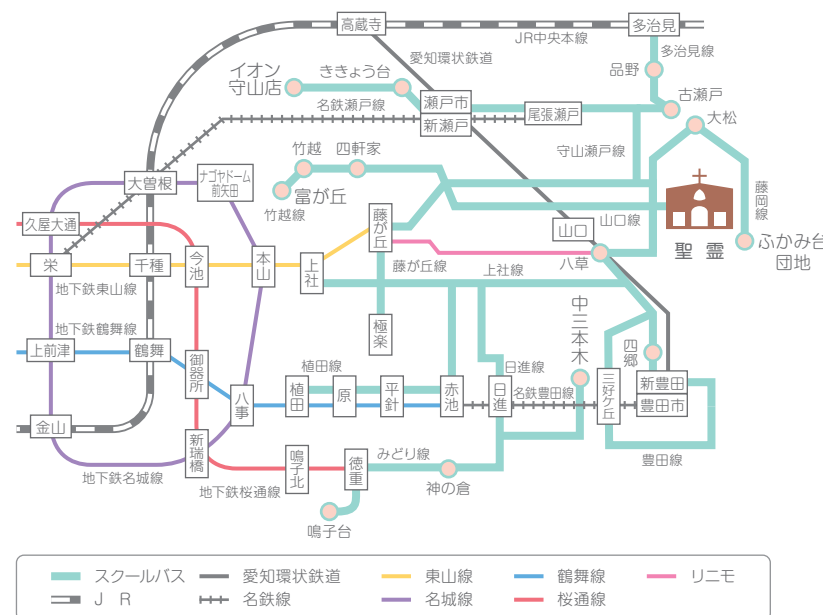
自動車をご利用の場合

<名古屋方面から>

星ヶ丘を経て、石名古屋線を
「八草IC」で降りて信号を左折
国道155号線を瀬戸方向へ3.5km
信号交差点「せいの町西」を右折

<多治見方面から>

瀬戸記念橋を経て、国道155号線を豊田方向へ2.7km
信号交差点「せいの町西」を左折



制服紹介 School uniform

Message



高校2年
伊藤 愛輝さん

伝統の重みを感じています。

聖霊の制服を着ることは、私にとって大きな誇りです。学校の伝統や精神を象徴するデザインであり、この制服を身にまとうことができる喜びを感じています。白いブラウスに紺のジャンパースカート、赤いリボンとベレー帽など、つくられた当初から変わることのないデザインには、シスターたちの想いが込められています。その重みを強く感じながら制服を着ることで、聖霊の一員であるという自覚をもつことができます。これからも制服を美しく着こなして、後輩たちへと繋いでいきたいです。



冬服(中学・高校)



夏服



準制服



サマーカーディガン



カーディガン



コート



中学
ベレー帽



高校
ベレー帽



中学
リボン



高校
リボン

創立者
聖アーノルド・ヤンセン
神言会 + 聖霊会
南山学園

聖霊中学・高等学校は
南山学園の一員です



南山
高等学校・中学校
男子部



聖霊
高等学校・中学校



南山大学
附属小学校



聖園女学院附属
聖園幼稚園



南山
高等学校・中学校
女子部



聖園女学院
高等学校・中学校



聖園女学院附属
聖園幼稚園

「個の力を、世界の力に。」
南山大学



カトリックの修道会である神言会により1949年に設立された大学です。「人間の尊厳のために」という教育モットーは、大学がその設立以来掲げてきました。人文学部、外国語学部、経済学部、経営学部、法学部、総合政策学部、理工学部、国際教養学部の8学部を擁し、国際的な視野をもつ人材の養成をめざした総合大学です。学園内の中学・高等学校には南山大学への推薦制度があります。